

このマークをクリックすると当社ホームページ内、外部サイトで関連情報をご覧ください



代表取締役社長 CEO

加藤 照和

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第88期(中間期)の株主通信をお届けし、事業の概況をご報告申し上げます。

当社グループは2022年春に、究極的に成し遂げる事業の志としてパーパス「一人ひとりの、生きるに、活きる。」を掲げました。130年前に創業者が目指したのは「社会公益の一端となる意義ある事業」であり、この創業精神を引き継ぎながら、デジタル革新が進展する今の時代において、「一人ひとりのwell-being」を実現したいという想いを、このパーパスに込めています。

2023年度は、為替変動やエネルギー・原資材価格の高止まりなど事業環境の厳しい状況下、国内漢方事業ではe-プロモーションを活用したハイブリッド型

情報提供活動の充実により、着実に事業計画を推進しています。さらに、中国事業においても、生薬プラットフォームを中心に事業拡大に取り組んでいます。

また、2023年11月に実施いたしました第2四半期決算説明会にて、より一層の株主資本コストを意識した経営をおこなっていく方針として、配当による株主還元の拡充をご説明いたしました。長期経営ビジョンの実現に向けて、2031年の目指す姿を明確に示すとともに、中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株主還元方針の改定

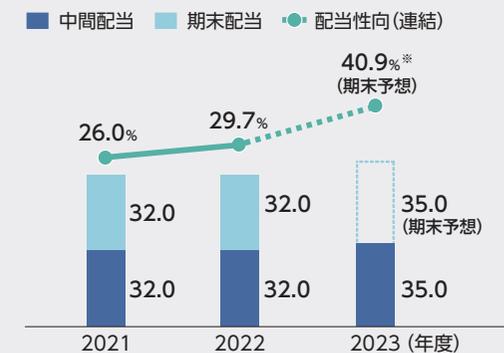
当社は、株主様に対する利益還元を重要な政策と考え、「TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031」の実現に向けた中長期的な企業価値向上の取り組みの一環として、株主還元方針を改定いたしました。株主資本配当率であるDOEを指標として設定し、健全なバランスシートを保ちながら配当拡充を目指します。2031年度に目指す水準はDOE5%です。

<配当予想の修正>

株主還元方針の改定にともない、2024年3月期の中間配当および期末配当予想を修正いたします。

ニュースリリース

配当金の推移(円)



* 2023年度期末配当金・配当性向(予想)は、第88回定時株主総会による配当議案決議が前提の予想値を記載

業績の概況

2023年度第2四半期は前年同期と比較して増収減益となりましたが、売上高および営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は上期計画を達成し、通期計画の達成に向け着実に進捗しています。



売上高は前年同期と比べ7.4%増加し、75,302百万円となりました。国内事業の売上高は、前年同期と比べ5.1%増加し、66,131百万円となりました。中国事業の売上高は、前年同期と比べ27.7%増加の9,171百万円となりました。



営業利益は前年同期と比べ12.6%減少し、10,211百万円となりました。主な要因は、原料生薬調達コストの上昇、エネルギー・原資材価格の高止まりの継続、円安の影響等による売上原価の上昇によるものです。



親会社株主に帰属する四半期純利益は、為替差益による経常利益の減少の影響等により、前年同期と比べ24.3%減少し、9,005百万円となりました。

事業の概況

事業別売上高

	2022年 第2四半期	2023年 第2四半期	前年同期比	
国内事業	62,922	66,131	+3,208	+5.1%
医療用漢方製剤	60,191	63,720	+3,528	+5.9%
一般用漢方製剤等	2,003	1,751	△253	△12.6%
その他	728	659	△69	△9.4%
中国事業	7,184	9,171	+1,986	+27.7%

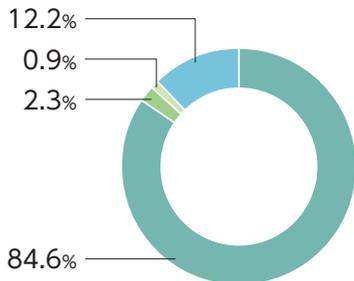
国内事業

医療用漢方製剤129処方の売上高は、前年同期と比べ5.9%伸長の63,720百万円となりました。e-プロモーションを中心とした営業施策による漢方薬の需要の創出により、五苓散、加味帰脾湯、人参養栄湯を中心に伸長し、五苓散は循環器領域や頭痛、めまいを中心に、加味帰脾湯は精神不安や不眠などのニーズへの対応、人参養栄湯は高齢者のフレイルにともなう食欲不振等に処方され伸長しました。

一般用漢方製剤等の売上高は、風邪症状に関連する処方等の品薄の状況が継続している影響により、前年同期と比べ12.6%減少し、1,751百万円となりました。

中国事業

中国事業の売上高は、原料生薬と飲片(刻み生薬)の販売を中心とする生薬プラットフォーム(平安津村薬業有限公司、深圳津村薬業有限公司等)において、生薬の品質を訴求した営業活動を継続的に推進した結果、前年同期と比べ27.7%伸長の9,171百万円となりました。

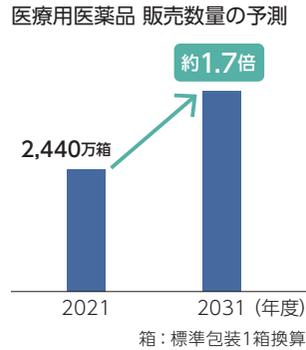


売上高構成比率

- 国内事業：医療用漢方製剤
- 国内事業：一般用漢方製剤等
- 国内事業：その他
- 中国事業：生薬プラットフォーム

医療用漢方製剤の販売数量は年平均5%を上回る伸長を目指します

医療用漢方製剤は、DXソリューションによる情報提供の最適化と個別化医療の実現への取り組みにより、年平均5%を上回る販売数量の伸長を目指しています。2031年度には2021年度比で約1.7倍の販売数量となる見込みです。販売数増加および漢方市場の拡大を支えるため生産能力の増強に取り組んでいます。



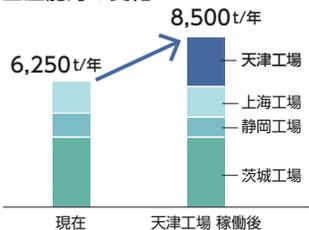
新製造拠点の天津工場、2023年度内に始動

これまで製造拠点は、茨城工場、静岡工場、中国の上海工場の3拠点でした。上海工場は、中国で調達した原料生薬をもとに日本向けの漢方エキス粉末(中間製品)の製造をおこなっており、同じ機能を持つ新たな生産拠点として天津工場の建設を進めてきました。1期工事は既に完了し、2023年度内の出荷開始を目指して手続きを進めています。また、天津工場は3期工事までを予定しており、フル稼働した場合、グループ全体で生産能力が約35%アップします。これに加え、各拠点での生産能力や各工程の増強を順次進めていきます。

天津工場の完成イメージ



生産能力の変化



「治療」から「未病三防」へ、「養生(予防)」へ漢方薬・中薬の価値を広げます

私たちが手がける漢方薬・中薬は、心と身体を総合的に捉え、体全体の調和を図る手段として、健康寿命を延伸する治療や不定愁訴や未病^{※1}状態の改善に貢献するものです。

当社グループの製商品・サービスによって貢献できる「well-being」の範囲を、治療と未病、そして養生^{※2}(予防)にまで広げて、一人ひとりの人生やライフステージ全体に価値を提供していきたいと考えています。

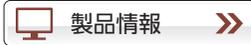


未病の科学化への挑戦

その第一歩として、“未病”の科学化に取り組んでいます。すべての疾患に共通する未病の概念は存在しないため、アカデミアなどとの連携・協働体制のもと、高齢者関連領域や女性関連領域の疾患にターゲットを絞って推進しています。例えば、老化に関連する「フレイル」では、加齢により体内に起きているさまざまな変化を捉え、未病状態を科学的に定義した上で、バイオマーカー^{※3}や診断方法を確立し、エビデンスベースでの漢方治療を目指します。また、治未病(未病先防)のみならず、重症化抑制(既病防変)、再発抑制(癒後防復)の未病三防で取り組み、患者様の身体的・精神的・経済的負担の軽減にも貢献していきます。

※1 未だ病気ではないが、いずれそのままにしておくと病気になる恐れがある状態であり、患者の体質や生活習慣を考慮して、未然に病気の発症を防止するという意味
 ※2 栄養(食)、睡眠、ストレス等の適正化により、身体が本来持っている自然治癒力を高め、健康増進を図ること
 ※3 ある疾患の有無や進行状態を示す目安となる生理学的指標のこと

おすすめ漢方



当社の一般用漢方製剤である(TSUMURA KAMPO)シリーズは、医療用漢方製剤と同じ処方番号を前面にデザインし、「伝える・伝わる」をコンセプトに49処方を展開しています。そのうち注目されている2処方をご紹介します。

ストレスなどで気がたかぶる方に



ツムラ漢方抑肝散エキス顆粒

第2類医薬品

〈効能・効果〉

体力中等度をめやすとして、神経がたかぶり、怒りやすい、イライラなどがあるものの次の諸症：神経症、不眠症、小児夜泣き、小児疝症(神経過敏)、歯ざしり、更年期障害、血の道症*



おなかのハリをやわらげたい方に

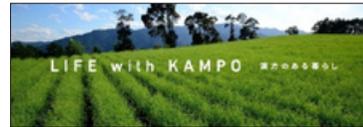


ツムラ漢方大建中湯エキス顆粒

第2類医薬品

〈効能・効果〉

体力虚弱で、腹が冷えて痛むものの次の諸症：下腹部痛、腹部膨満感



「漢方のある暮らし」をコンセプトに、症状にあった漢方薬のご紹介やセルフケアのワンポイントアドバイスなど、皆様の健康維持にお役立ていただきたい情報を発信しています

* 血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動にともなう現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである

新商品情報

ツムラのくすり湯「バスハーブ」(10mL)を新発売(医薬部外品)

2023年8月に「バスハーブ」シリーズにお試し1回分を新発売しました。

〈効能〉

腰痛、荒れ性、冷え症、神経痛、リウマチ、肩こり、痔、疲労回復、あせも、しっしん、ひび、あかざれ、にきび、ただれ

- 生薬エキスが温浴効果を高め、血行を促進し、身体をよく温めます。
- お湯にすぐに広がる液体タイプで、生薬独特の香りと自然な草色のお湯を楽しめます。
- 健康で快適な毎日を過ごすため、ご家庭で手軽に楽しめる“くすり湯”です。
- 有効成分は100%生薬エキス。(トウキ、センキュウ、ハマボウフウ、チンピ、ハッカ、カミツレ)



1897年に誕生した「浴剤中将湯」は、婦人良薬「中将湯」を製造する過程で出る生薬の切れ端などを社員が持ち帰り、お風呂に入れたところ、体が非常に温まり、汗疹(あせも)も良くなった経験から開発されました。その後、創業者である津村重舎の意志を受け継ぎ「本物志向で、科学的根拠のしっかりした入浴剤を世に出したい」という開発者の強い思いから1975年にバスハーブは誕生しました。

長い間、多くのお客様にご愛好いただいている「薬用生薬入浴剤」です。



新商品情報

「ツムラのおいしい和漢ぷらす」シリーズに"のだ飴"が新発売

新発売



頑張る毎日に、わたしの新習慣 のど飴に和漢の発想を

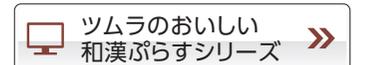
のだ飴

こだわりの和漢素材「桔梗、甘草」を使用し、のだ飴に、ぷらすの「うれしい」を実現。春日井製菓との共同開発で、沖縄県産黒糖を使用し、おいしさにもこだわりました。



たかめるのだ飴

こだわりの和漢素材「高麗人参」を使用し、頑張る毎日の、ちょっとした合間に。わたしを“たかめる”、おいしい一粒。



中国事業：生薬プラットフォームの取り組み

中国事業の目的は、「中国国民の健康への貢献」と「原料生薬の安定調達・供給」です。当社の原料生薬の栽培や漢方製剤の製造で培った「品質・技術・経験」と、中国平安保険グループが保有する顧客基盤、医療オンラインプラットフォームを掛け合わせ、中国市場において、信頼される中薬企業を目指しています。

3つの事業プラットフォーム

生薬プラットフォーム

原料生薬・飲片・「薬食同源」製品などの製造・販売



製剤プラットフォーム

原料生薬を製剤化した中成薬の製造・販売



研究プラットフォーム

生薬の種苗から最終製品まで、すべてのサプライチェーンにおける品質標準を策定

よくある質問

中国における中薬・中成薬の市場規模はどれくらいですか？

A 中薬市場は約14兆円あり、日本の漢方・生薬市場の55倍以上もの規模です。そのうち中成薬の市場は約10兆円、原料生薬・中薬飲片の市場は約4兆円となっています。

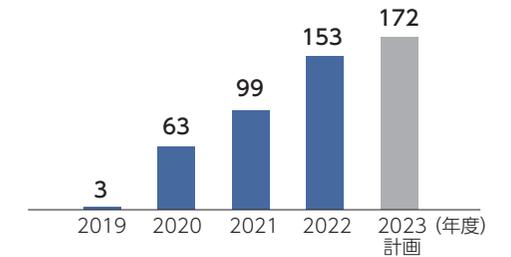


中国事業の目指す売上高のイメージはどれくらいですか？

A 中国事業の生薬プラットフォームにおいては、2024年度まで年平均成長率30%の高成長を図るとともに、製剤プラットフォームにおいては、提携やM&Aによる中成薬事業への参入を目指しています。売上高のイメージとしては、2031年に海外売上高比率50%以上を掲げています。

現在の中国事業は、生薬プラットフォームにおける原料生薬、飲片、「薬食同源」製品を中心に販売しており、品質を起点とした営業活動を推進した結果、順調に事業規模を拡大しています。今後は養生・予防・未病領域である大健康事業と治療・未病領域である中薬・中成薬事業を、生薬・製剤・研究の3つのプラットフォームで展開していきます。

中国事業の売上高推移 単位：億円



コラム 資生堂とのコラボレーションで「健康美」の実現を目指す

2023年9月、戦略提携契約を締結している資生堂と当社による新規事業戦略・技術発表会が開催されました。資生堂と当社のコラボレーションは、両社が持つ知見を融合させ、「健康美」における新たな価値を提供することを目指しています。共同研究・開発においては、東洋医学の概念の一つ「五臓」に基づき、今回得られた新たな研究開発手法により、当社の和漢成分と資生堂の美容成分を組み合わせ、「健康と美」を追求する新たな価値を創造し、お客様の健康美を実現していきます。

ニュースリリース

- ▶ 資生堂との戦略提携契約締結のお知らせ
- ▶ 資生堂との共同研究で、和漢成分による心身を介した肌改善効果を確認



左：資生堂 藤原社長 右：ツムラ 加藤社長

一般生活者向けイベントへの協賛 ～漢方や医療、健康に関するさまざまな情報を提供～

当社は、高齢者関連領域・がん領域（支持療法）・女性関連領域を中心に、一般生活者に向けた医療や健康に関するフォーラムやイベントに協賛し、漢方に関するさまざまな情報を提供しています。

●フォーラムがんと生きる ～こころとからだ 私らしく～

がん医療の情報を的確にわかりやすく伝えるとともに、患者様とご家族が抱える苦悩に寄り添い解決策をともに考えるフォーラムです。

●長寿の未来フォーラム

超高齢社会を自分らしく生き続けるために、フレイルや認知症の予防・対策について地域の取り組みなどをご紹介します。

●健康応援フェスタ ～すこやかな心と体のために～

すこやかで質の高い自立した暮らしをおくるために、医学や健康分野の最新情報についてご紹介しています。

最新のイベント情報 >>>



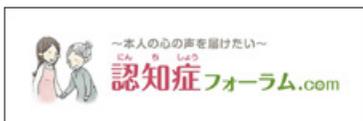
健康応援フェスタ会場の様子



展示コーナーの様子

認知症フォーラム.com >>>

フレイルを知って健康長寿 >>>



漢方に関する情報の発信

アプリ Kampo view Books

じぶんの身体がよくわかる気血水チェック

Google Play >>>

App Store >>>



SNS (X:旧Twitter)

漢方のある暮らしをご提案

これからの健やかな社会のあり方を考える

LIFE with KAMPO
漢方のある暮らし >>>

#OneMoreChoice >>>

ポータルサイト

漢方の知識を深めていただくための情報をお届け

Kampo View >>>

外部サイト

漢方に詳しい病院検索サイト

漢方に詳しい病院
医師検索サイト紹介 >>>

個人投資家の皆様との対話

個人投資家の皆さまへ >>>

●セゾン共創日本ファンド運用報告会

2023年9月2日(土) 池袋サンシャインシティ 特別ホール

セゾン投信の運用報告会に投資先企業として参加しました。個人投資家の皆様に当社の事業概要と成長戦略についてご紹介し、ポートフォリオマネージャーの山本氏と取締役CFOの半田が特別対談をおこないました。



特別対談の様子 中央：半田CFO

特別対談映像 >>>

●さわかみファンド運用報告会

2023年9月16日(土)パシフィコ横浜 展示ホールC

さわかみ投信の運用報告会には、投資先企業のうち26社が参加し、当社もブースを出展して企業講演をおこないました。個人投資家の皆様との対話を通じて、当社の魅力を伝える良い機会となりました。



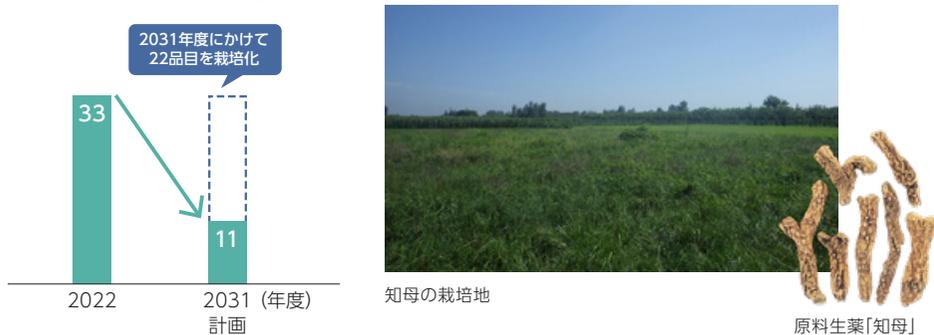
当社出展ブース

ダイジェスト映像 >>>

原料生薬「知母」の栽培品切り替えが実現

生物多様性保全の観点から、原料として使用する生薬の野生品の使用品目数削減を目標として掲げています。植物由来の原料生薬を110品目使用しており、そのうち33品目は野生品を使用しています。2031年度までに更なる栽培化を推進し、野生品を11品目まで減らす計画です。知母(ちも)という生薬においては、栽培方法の改良により規格成分を高めることに成功し、2022年度には、全量栽培品への切り替えを実現しました。

【野生品の生薬の品目数】(品目)



医薬品業界初の再利用水浄水施設の導入

医療用漢方製剤の国内最大拠点である茨城工場では、年間約93万トンの生産水を使用しています。2018年から「環境対策として水資源の有効利用」と「製造コスト低減」を目指し、洗浄水の再利用を検討してきました。2023年3月に「再利用水浄水施設」が完成し、5月より稼働を開始しています。医薬品製造に再利用水を使用するのは業界初となります。今後は本施設の安定稼働により、年間で約15万トンの水資源確保を見込んでいます。

茨城工場に併設された再利用水浄水施設



#OneMoreChoice プロジェクト

当社は、誰もが不調を無理に我慢することなく、心地よく生きられる健やかな社会を目指し、2021年から#OneMoreChoice プロジェクトを進めています。2023年4月からは、大学生が隠れ我慢^{*1}しない環境づくりを目指した取り組みである「Carellege Action」^{*2}を4大学からの賛同を得てスタート。無料で専門家に健康相談できる機会の提供や当社の社員が講師となり、学生と対話しながら不調への対処法について学ぶ研修を実施しています。

また、本プロジェクトでは、隠れ我慢のない企業を目指し社内に対しても活動をおこなっています。2022年4月には「#OneMoreChoice アクション」を施行し、休暇制度の変更など社員の健康課題を解決する施策も進めています。これらの取り組みが企業における先進的な事例であるとして、厚生労働省主催「働く女性と生理休暇に関するシンポジウム」に招かれ、当社の#OneMoreChoice プロジェクトの活動内容を紹介しました。

- *1 隠れ我慢とは、心身の不調を我慢して仕事や家事を行うこと(当社の登録商標)
- *2 Carellege(ケアレッジ)は、CareとCollegeの造語

Carellege Action >>



大学生向け#OneMoreChoice 研修の様子

シンポジウムの概要 >>

コラム 牧野富太郎とのかかわり

NHK連続ドラマ小説108作目の『らんまん』は、植物学者の牧野富太郎をモデルとしたドラマでした。

創刊から107年を迎えた「植物研究雑誌」の背景には牧野博士と当社との深い関わりがありました。



牧野富太郎と津村重舎 >>

株主優待のご案内とご報告

株主優待制度のご案内

【保有年数継続3年以上】

◎薬用入浴液バスハーブ

- ・100株以上……………小(210ml)×1本
- ・1,000株以上……………大(650ml)×1本

◎ツムラ漢方記念館見学会ご招待(年数回)

- ・100株以上……………ご応募の株主様から抽選でご招待



株主還元(配当・優待) >>>

漢方記念館見学会を4年ぶりに開催

漢方記念館は漢方・生薬に特化した記念館で、漢方の歴史や生薬標本、最新の研究発表等を展示しています。

本見学会は、当社株主優待として開催していますが2020年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響にともない開催を中止、この度、4年ぶりに開催することができました。参加された方々は、生薬の栽培方法や品質管理などの説明を受けた後、生薬に触れたり香りを体験したりするコーナーや併設する薬草見本園などを見学されました。



漢方や当社の概要について説明を受ける様子



創業当時の看板や本社の模型を見学

バーチャル漢方記念館 >>>



漢方記念館を舞台に漢方の歴史、漢方製剤ができるまでの工程など、さまざまな情報を動画やアニメーションも活用しながら発信しています。

株主総会資料の電子提供制度のご案内

2023年6月の第87回定時株主総会より、株主総会資料は会社法の電子提供制度に基づいた対応を取らせていただいております(当社ウェブサイトに掲載)。株主の皆様には株主総会参考書類および事業報告の一部を抜粋した招集ご通知をお送りしましたが、以前と同様の招集ご通知の送付を希望される株主様は、書面交付請求の手続きが必要となります。詳細につきましては、当社ウェブサイトを

株主総会 >>>

その他各種情報ははこちらから

会社概要 >>>

株式の状況 >>>

株式手続きメモ >>>

統合報告書2023 発行のご案内

ステークホルダーの皆様へ、中長期的視点で当社の企業価値向上への取り組みをご理解いただくために発行しています。当社グループの取り組みをぜひご覧ください。

統合報告書2023 >>>



株主様アンケートご協力をお願い

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。(所要時間は5分程度です)

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です

- ①下記URLにアクセス
- ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4540

……以下の方でもアンケートにアクセスできます……

検索窓から

kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信
「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

●アンケートのお問合せ「e-株主リサーチ事務局」
MAIL: info@e-kabunushi.com

株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション室 IR推進グループ
〒107-8521 東京都港区赤坂二丁目17番11号 TEL 03-6361-7101